

- 沖縄県教育委員会のホームページでチェックしておくことが望ましい。特に教育施策等は、絶えず新しいもので学習すること。

問12 解答 ㉔ オ 勤労観 ㉕ イ 就業意識

- 「沖縄県教育大綱」からの出題。この施策からはほぼ毎年出題されている。
- キャリア教育に関する文章であるが、4月12日にやった錬成問題②の問題と同じ文章である。さて、正解できただろうか？。3行目の「産学官連携」はキーワード。

問13 解答 ㉖ エ 学校教育法 ㉗ ア 屈辱感 ㉘ ア 教育効果

- 沖縄県教育委員会の「体罰防止ハンドブック」からの出題。
- 一つ目の○の学校教育法第11条は、平成29年度実施試験でも出題された。重要な条文であり、二次試験の論文対策、面接試験対策も含めて、暗記することが望ましい。
- 問題文の3つの文章とも、論文試験等で使用できるわかりやすい文章である。
- 肉体的苦痛を伴うと判断された場合は、すべて体罰。

問14 解答 ㉙ ウ インプリンティング

- ひとみしり（生後8ヶ月ごろから見知らぬ人に対して不安や恐怖を示す現象）
- アタッチメント（「愛着」は、子どもと養育者（特に母親）との間に形成される情緒的結びつきのこと。ボウルヴィが名付けた。）
- ホスピタリズム（施設病とも訳される。長い間親元を離れた施設、病院で暮らす場合に生ずる心身の発達の障害。）
- 愛他的行動（援助を必要としている人に対する無償の援助行動。）

㉚ イ シュプランガー

- オルポート（性格は、多数の人に共通する特性と個人に独特な特性があるとする「特性論」を説いた。）
- シェルドン（性格を内臓緊張型、身体緊張型、頭脳緊張型に分けたアメリカの心理学者）
- クレッチマー（体型と性格の関係を説いた）
- ユング（フロイトの精神分析学を継承・発展させたが、フロイトから離反し分析心理学を創始した。）

㉛ エ 合理化

- 補償（欠点を別の面で補うこと。「勉強の不得意な子が運動で頑張る。」）
- 同一視（自分がある対象と同じであると思い込んで満足すること。「子どもがアニメやマンガのヒーローのまねをする。」）
- 置換（抑圧された感情が、本来の対象から離れて、別の代理の対象に向けられること。「父にしかられてむしゃくしゃしたので、イヌを蹴飛ばした」）
- 退行（より初期の発達段階や、より未熟に行動様式に後戻りをする事。「弟や妹が生まれると、幼い言葉を使って甘える。」）

㉜ エ 元田永孚 ※『教学聖旨』は、学制以降の欧化主義的な文教政策に対する明治天皇の批判の書。

- 森 有札（初代文部大臣。学校令）
- 井上 毅（教育勅語起草）
- 西村茂樹（修身教科書編纂）
- 福沢諭吉（慶応大学創設。『学問のすすめ』）

㉝ ウ ロッシュの学校

- 性格形成学院（イギリスのオーエンが自分の工場内に創った幼児学校）
- アポッツホルムの学校（イギリスのセシル・レディが創設）
- サマーヒル学園（イギリスでニールが開いた。）
- 田園教育舎（ドイツでリーツが創設）